

# Red Hat と Oracle でクラウドの未来を切り開く

Gartner の予測によると、2027 年までに組織の 90% がハイブリッドクラウド・アプローチを導入し、ハイブリッドクラウド環境間でのデータ同期が当面の喫緊の課題となるとされています。<sup>1</sup>

## Oracle Cloud Infrastructure で Red Hat ソリューションを活用してイノベーションを加速

ハイブリッドクラウド戦略は、ワークLOADを最も効果的な場所で実行したいと考える組織が採用することが増えていましたが、今ではそのような組織にとって不可欠なアプローチとなっています。こうした組織はパフォーマンスを維持し、ガバナンス要件を満たしながら、柔軟性を最大限に高める必要があります。同時に、AI のような新しいテクノロジーの急速な進化とアプリケーションのモダナイゼーションの推進により、IT チームに新たな機会と、そして新たなプレッシャーがもたらされました。

ハイブリッドクラウド戦略を成功させ、アプリケーションをモダナイズし、AI 導入を加速するには、イノベーションの基盤となる、クラウドに依存しない柔軟なプラットフォームが必要です。

Red Hat と Oracle は、データセンターから [Oracle Cloud Infrastructure \(OCI\)](#) までをカバーする、一貫性のあるセキュリティ重視のクラウドネイティブな基盤を提供することで、企業および公共部門の組織がハイブリッドクラウド、モダナイゼーション、AI 戦略を推進できるよう支援します。Red Hat® ソリューションを Oracle の高性能クラウド・インフラストラクチャ上で利用できるようにすることで、Red Hat と Oracle はお客様の選択肢と柔軟性を最大化します。

## Red Hat と Oracle のパートナーシップ

フォーチュン 500 企業の 90% が Red Hat と Oracle のソリューションを活用しており<sup>2</sup>、両社の共通顧客の多くが Red Hat Enterprise Linux® をオペレーティングシステム基盤として、さまざまな Oracle ソフトウェア製品と組み合わせて使用しています。OCI は、高性能で分散型、かつセキュリティ重視のクラウドサービスを提供します。

両社の長年にわたるパートナーシップにより、Red Hat の主要プラットフォームは OCI 上でサポートされるソリューションとして利用でき、OCI ネイティブツールとの統合も可能になっています。これには以下が含まれます。

- ▶ Red Hat Enterprise Linux
- ▶ Red Hat OpenShift® (Red Hat OpenShift Virtualization を含む)
- ▶ Red Hat OpenShift AI
- ▶ Red Hat Ansible® Automation Platform
- ▶ Red Hat JBoss® Enterprise Application Platform

1 Gartner、「[Gartner Forecasts Worldwide Public Cloud End-User Spending to Total \\$723 Billion in 2025](#)」、2024 年 11 月 19 日。

2 Red Hat 顧客データ、Oracle 顧客データ、および [フォーチュン 500 リスト](#)、2025 年 6 月。

**概要** Red Hat と Oracle でクラウドの未来を切り開く

「企業はビジネスニーズに対応し目標を達成するためにマルチクラウド環境を活用し続けており、ワークロードをクラウドに移行する際には柔軟性とシンプルさを重視しています。OCI上でRed Hat OpenShiftを使うことで、お客様はOCIにRed Hat OpenShift環境を容易に拡張できるという二重のメリットに加え、OCIの分散クラウドを介してどこからでもワークロードを実行できるという柔軟性も得ることができます」<sup>3</sup>

—  
**Karan Batta 氏**  
Oracle Cloud Infrastructure  
シニアバイスプレジデント

### OCIでRed Hatソリューションを使用することで得られる価値

Red HatとOracleは、OCI上の主要なRed Hatソリューションの可用性を拡大することで、一貫性がありセキュリティに重点を置いたクラウドネイティブな基盤を提供します。これらのソリューションはさまざまなOCIクラウドインスタンスで利用可能であり、その多くは厳格なセキュリティ基準に対応しなければならない政府機関や規制の厳しい業界の企業に適しています。

Red HatとOracleは、主に以下の4つの方法で組織のイノベーション戦略推進を支援します。

### エンドツーエンドのエンタープライズ・ソリューションでAIを推進

Red HatとOracleはそれぞれ、エンタープライズグレードのAI向けソリューションサイトを提供しています。Red HatはRed Hat OpenShift AIなどのプラットフォームを通じてAIのオーケストレーション、デプロイメント、およびランタイムの管理機能を提供し、Oracleは高性能なハードウェア、インフラストラクチャ、データパイプラインを提供します。共通顧客の高性能AIワークロードをサポートするために、Red Hat Enterprise LinuxをOCI Compute上で実行できます。

両社の機能を組み合わせることで、共通顧客のライフサイクル全体をカバーする、完全にサポートされた相互運用可能なAIソリューションが形成されます。

### 分散型およびマルチクラウドのサポートで柔軟性を最大化

Red Hat Enterprise Linuxは、あらゆるクラウド上であらゆるワークロードを実行するための一貫した基盤を提供し、Red Hat OpenShiftは、あらゆる環境でアプリケーションを一貫して構築、デプロイ、管理するための統合プラットフォームを提供します。

Oracleの分散クラウドは、用途ごとに異なるクラウドを提供し、150以上のクラウドサービスをあらゆる環境で利用できます。また、Oracleはマルチクラウド・デプロイメントもサポートしており、Microsoft Azure、Amazon Web Services (AWS)、またはGoogle Cloud内でOracleデータベースを実行できます。お客様は好みのクラウドを引き続き利用しながら、Red HatのソリューションとOracleのインフラストラクチャおよびサービスを継続して使用できます。

### 優れた制御性でアプリケーションのモダナイゼーションとクラウド移行を加速

Red HatとOracleは、確実にワークロードをクラウドに移行してモダナイゼーションを円滑に進めるための一貫した基盤を提供します。

Red Hat OpenShiftは、OCIを含むハイブリッド環境やマルチクラウド環境におけるアプリケーション開発および管理のための統合ツールを提供します。また、OCI上でRed Hat OpenShift Virtualizationを稼働させることで、既存のVMをOCIに移行し、コンテナ化されたアプリケーションと並行してVMワークロードを実行することができます。OCIは、エンタープライズ・ワークロードに必要な、一貫した低レイテンシーの接続を実現する高性能ベアメタルサーバー機能を提供します。

OCI上でRed Hatのハイブリッドクラウド・ソリューションを利用できるため、既存のIT投資の価値を維持しながら、使用中の環境の制御性をさらに高めることができます。

### パフォーマンス向上とコスト抑制を両立しながらスケールアップとスケールアウトを実現

Red HatとOracleのソリューションによってクラウド機能の柔軟性とスケーラビリティが向上するため、両社の共通顧客はリソースの無駄を最小限に抑え、既存のIT投資を維持し、コストを最適化することができます。

OCIは、Red Hat Enterprise Linux上で稼働するエンタープライズ・アプリケーションの要件に対応するように設計されています。OCIの柔軟なVMの認定済み構成では、Red Hat Enterprise Linuxの実行と、CPU(中央処理装置)単位でのスケーリングが可能であり、組織のビジネスニーズに応じて拡張し、変化する需要に対応しながら価格パフォーマンスを最適化できます。

<sup>3</sup> Red Hat プレスリリース、「[Oracle Cloud InfrastructureでRed Hat OpenShiftの一般提供を開始](#)」、2024年5月6日。

概要 Red HatとOracleでクラウドの未来を切り開く

## OCI上で稼働する Red Hat ソリューションの機能

### Red Hat Enterprise Linux

Red Hat Enterprise Linux は、OCI 上で完全にサポートされている認定済みソリューションとして提供されます。従来のパッケージングおよびシステム管理手法 (Red Hat Package Manager) を使用するか、コンテナ・テクノロジーを使用してデプロイすることが可能で、オペレーティングシステムの構築、デプロイ、管理に対するシンプルで一貫したアプローチを提供します。

OCI の柔軟な VM の認定済み構成では Red Hat Enterprise Linux を実行でき、プロセッサーに応じて、CPU コア数は 1~80 コア (CPU 単位)、メモリーは CPU あたり 1~1024 GB を提供します。

### Red Hat OpenShift

Red Hat OpenShift は、OCI 上でセルフマネージド型の認定ソリューションとして利用できます。Oracle ユーザーは、OCI 上にセルフマネージド型の OpenShift をデプロイして、新しいクラウドネイティブ・アプリケーションのモダナイゼーションと開発や、AI/ML および分析機能を備えたインテリジェント・アプリケーションの構築を行えます。また、OCI ユーザーは、Red Hat OpenShift を使用して仮想化ワーカーロードをデプロイし、統合ツールを使用して開発、セキュリティ、運用 (DevSecOps) を自動化し、企業全体にアジャイルでセキュリティが強化されたアプリケーションを提供できます。

Red Hat OpenShift の機能として提供される Red Hat OpenShift Virtualization は、OCI のペアメタルインスタンス上で利用できます。これにより、既存の VM を OCI に移行し、従来のワークロードをクラウドネイティブ・アプリケーションと統合し、お客様独自のペースで使用中の環境をモダナイズできます。

### Red Hat OpenShift AI

Red Hat OpenShift の機能を基盤とする Red Hat OpenShift AI は、オンプレミス環境およびパブリッククラウド環境にわたって AI と機械学習 (ML) のライフサイクルを大規模に管理するための AI プラットフォームです。OCI の高性能 AI クラウドサービス上で、Oracle のソリューションおよびサービスと組み合わせることで、エンドツーエンドのエンタープライズ AI ソリューションを提供します。

### Red Hat Ansible Automation Platform

Ansible Automation Platform のエンタープライズ自動化機能と OCI の広範なインフラストラクチャおよびサービスを組み合わせることで、IT チームは自動化を迅速に実現し、自動化戦略を拡張できます。このプラットフォームは、Red Hat OpenShift または Red Hat Enterprise Linux にデプロイされた OCI 上でプロビジョニングし、Oracle Cloud インフラストラクチャを自動化することができます。

### Red Hat JBoss Enterprise Application Platform (JBoss EAP)

JBoss EAP は、複数の環境で Java ベースのエンタープライズ・アプリケーションを実行するための、高性能かつセキュリティ重視のプラットフォームです。JBoss EAP を使用することで、OCI 上で Java アプリケーションを実行できます。

## 今すぐ始める

OCI で Red Hat ソリューションをデプロイするメリットについて[詳細](#)をご覧ください。



### Red Hat について

エンタープライズ・オープンソースソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、既存および新規 IT アプリケーションの統合、複雑な環境の自動化および運用管理を支援します。[受賞歴のあるサポート、トレーニング、コンサルティングサービス](#)を提供する Red Hat は、[フォーチュン 500 企業に信頼されるアドバイザー](#)であり、オープンな技術革新によるメリットをあらゆる業界に提供します。Red Hat は企業、パートナー、およびコミュニティのグローバルネットワークの中核として、企業の成長と変革を支え、デジタル化が進む将来に備える支援を提供しています。

**アジア太平洋**  
+65 6490 4200  
[apac@redhat.com](mailto:apac@redhat.com)

**オーストラリア**  
1800 733 428

**インド**  
+91 22 3987 8888

**インドネシア**  
001 803 440 224

**日本**  
03 4590 7472

**韓国**  
080 708 0880

**マレーシア**  
1800 812 678

**ニュージーランド**  
0800 450 503

**シンガポール**  
800 448 1430

**中国**  
800 810 2100

**香港**  
800 901 222

**台湾**  
0800 666 052